

第8回 令和6年能登半島地震災害復興対策特別委員会 会議録（要旨）

開催日時 令和8年3月10日（火） 9時54分～10時56分
開催場所 全員協議会室
出席委員 中川 達 委員長
福島誠一、中村 聡、土屋克之、西尾雄次、磯貝幸博、川口正己、恩道正博、北川悦子、夷藤 満、清水文雄、南 守雄
欠席委員 （なし）
オブザーバー 七田満男 議長
傍聴者 （報道機関）
説明員 生田 町長、山崎 副町長、松井 総務部長（欠席）、上前 都市整備部長、宮本 都市整備部担当部長、法利復興まちづくり推進課長、四月朔日地域再建整備課長、組村復興まちづくり推進課長補佐、米濱地域再建整備課長補佐
事務局・書記 堀川 議会事務局長、川端 事務局次長兼参事、中村 書記

議 件

（1）北部地区の町道拡幅について・復興公営住宅について

【委員】

幅員5メートルに統一することだが、既存建物が支障となる箇所は幅員を縮小する考えはあるか。

【説明員】

近隣で合意が得られない場合は、線型を見直すことも検討したい。

【委員】

町が道路用地を買い取る場合、統一的な単価はあるか。

【説明員】

道路を拡幅する場合、地籍調査により分筆の後売買することとなるが、買取単価は、現時点で決まったものはない。

【委員】

登記に必要な費用は、町が支援するのか。

【説明員】

境界の変更に伴う、ブロック塀等の再建に係る費用は、県の補助で対応できそう。登録免許税は国が減免する予定。登記事務の委託した場合に係る費用の補助について、現在、県へ要望中。

【委員】

県道の復旧のスケジュールが見えない。県道の復旧方針が決まらなると、節度くする町道の本復旧、地下水位対策、上下水道の本復旧ができない。いつ、どこから着手するのか、県に正すべきではないか。

【説明員】

県に対し、早急にスケジュールの提出を求める。

【委員】

県道に対する町の要望について、県の本庁と土木事務所間で連携が取れているのか。

【説明員】

県に於いて共有できていると認識している。

(2) その他

(特になし)

(以上)